

第三章 古代南アジア史

この章で学ぶこと

*インド文明の誕生・インド王朝の興亡・東南アジア史

南アジアは世界最古の文明の一つであるインダス文明が発生した地域であり、その後、西アジアの影響を受けながらも、インドを中心に今日まで独自の文明圏を構成してきた地域である。一方で南アジア地域の歴史は、中央アジアや西アジアから侵入してきた人々と現地の人々とがおりなす、抗争と交流と、融合の歴史でもあった。おそらくはドラヴィダ系の人々をその担い手としたインダス文明が衰退した後、中央アジアや西アジアからパンジャーブ地方に侵入したインド・ヨーロッパ系のアーリヤ人はインダス文明の諸要素を継承し、前 1000 年頃からのガンジス流域への移動の過程で、ヴァルナの身分制度やバラモン教を確立していった。やがて都市国家が抗争する時代を迎えたインドでは、司祭であるバラモンに対し、クシャトリヤ（戦士）やヴァイシャ（庶民）が台頭し、ウパニシャッド哲学や仏教・ジャイナ教などの新宗教の成立をみた。前 4 世紀、中央アジアからカイバル峠を越えて侵入したアレクサンドロスが、インダス流域を席卷して去っていくと、その混乱を利用してガンジス中流域のマガダ国にマウルヤ朝を開いた Chandragupta がインダス流域も支配し、北インドに最初の統一をもたらす。仏教保護で知られる 3 代目のアショーカ王時には、南端を除くインドの統一に成功したマウリヤ朝も、その死後崩壊に向かい、北西部にはバクトリアのギリシア人勢力が侵入し、デカン高原ではサータヴァーハナ朝（アーンドラ朝）が成立した。バクトリア崩壊後、トハラ・大月氏の支配を経て 1 世紀にクシャーナ朝が成立すると、インドはクシャーナ朝とサータヴァーハナ朝の並立時代をむかえ、クシャーナ朝はシルクロードの、サータヴァーハナ朝は、海の道の交易で繁栄した。3 世紀に両王朝が衰退した後、4 世紀にはマガダ国にグプタ朝が台頭して北インドの統一に成功するが、中央アジアからの遊牧民エフタルの侵入によって衰退し、6 世紀中頃に滅亡する。その後、7 世紀前半のヴァルダナ朝の再統一の後、分裂状態に陥った北インドでは、エフタルの侵入と同時にインドに侵入した外来民族や、グプタ朝の衣辺境から起こった土着勢力が、ラージプート（王の子）と称して割拠するラージプート時代を迎えることになる。

一方で南インドは、東部沿岸のチョーラ朝やパండిヤ朝、西部沿岸のチェーラ朝がインド洋交易で繁栄し、ドラヴィダ系のタミル語による独自の文化が発展した。5～6 世紀には神への一体化を追求するバクティ運動も生まれた。

古代南アジア世界

インダス文明

<前 2300 ~ 前 1800 頃>

都市遺跡	場所	特徴
1 _____	インダス中流	* 4 _____ 文明
* パキスタンに所在	2 _____	* シュメールと交易(ロータル)
3 _____	インダス下流	* 都市文明
* パキスタンに所在	シンド地方	o 都市計画に基づき, 給排水設備
		o シュヴァ神や牛の像の出土
		o 大浴場・城塞・穀物倉庫・作業場
		o 菩提樹・水を神聖視
		o 王宮・神殿が見られず
		o 沐浴の習慣
その他ロータル(造船所の遺構発見), ドーラヴィーラ(1990年代に発掘)な どの遺跡がインド共和国で発見		* 5 _____ 人建設
		o 二進法と十進法の度量衡
		* 印章に象形文字のインダス文字
		* 洪水や流路の変更で衰退

アーリヤ人の侵入

前 2000 年: 6 _____ 系の遊牧民で, 中央アジアやイラン東部より **カイバル峠** を越え南下
 前 1500 年: 2 _____ **地方** で部族社会を構成し, 半定住生活, インダス文明の要素を吸収
 前 1200 年: 7 _____ 成立(前 1000 頃にかけて) 知識の意で 8 _____ **文字** で記述
 → 9 _____ は最古のヴェーダで神々への賛歌, 自然を神格化 → バラモン教の経典
 前 1000 年: **ガンジス川** 流域に移動・定住し, 鉄器使用と稲作農耕 → 小王国と 10 _____ (種姓) 形成
 11 _____ (僧侶) ・ 12 _____ (戦士) ・ 13 _____ (庶民) ・ 14 _____ (隷属民)
 → 紀元前後にヴァルナの権利や義務, 慣習が『15 _____』にまとめられ, 社会的規範として定着
 → 後に 16 _____ (職種別, 部族別集団, 婚姻・会食の禁忌) と結合し, 17 _____ **制度**
 前 7 世紀: 十六王国成立(前 6 世紀にかけて) **ガンジス** 流域中心に成立し **マガダ国** と **コーサラ国** 有力

インドの宗教

バラモン教		自然を神格化・ ヴェーダ (知識の意)・祭式中心で形式化
<奥義書哲学>		19 _____ = 梵を宇宙の根本原理 梵我一如
18		20 _____ = 我を個人の根本原理 輪廻解脱
21	教 (マハーヴィーラ)	禁欲・ <u>不殺生</u> ・カースト否定・肉体的苦行重視 → ヴァイシヤ (特に商人へ)
22	教	八正道の実践・カースト否定・精神的修行重視 → 苦行を否定・ クシャトリヤ ・ ヴァイシヤ 中心に支持者

南インドの王朝

* 南インドは 5 _____ 系中心で言語はタミル語…バクティ運動で吟遊詩人がタミル語の文芸作品

* 海の道の海上交易で繁栄

o チャールキヤ朝(6世紀~8世紀)…デカン高原を支配

o チェーラ朝…前2世紀頃成立, インド南部の西部沿岸を支配し, サータヴァーハナ朝と併存

o パッラバ朝(3世紀~9世紀)…半島東南部を支配, タミル文化の伝播に貢献

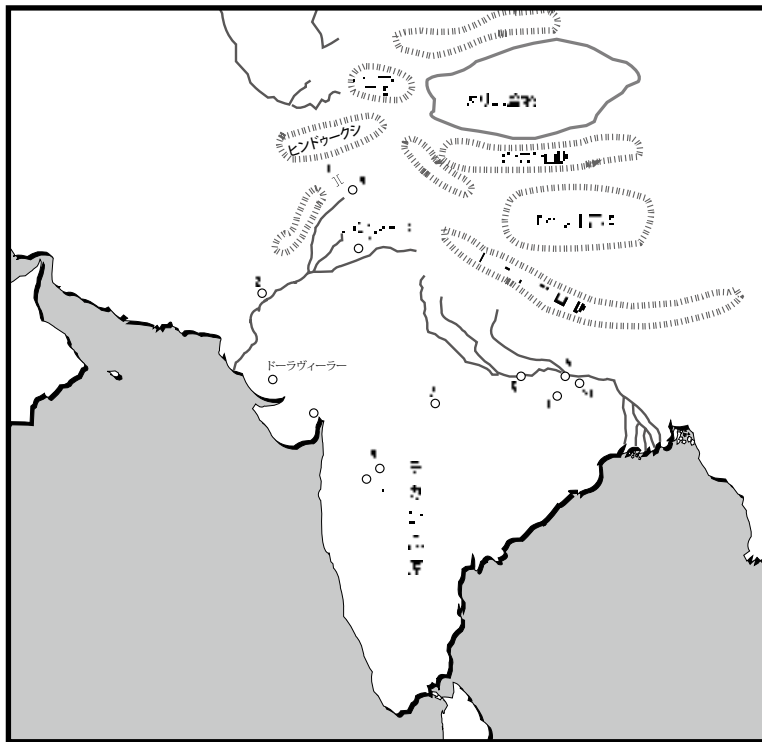
o 23 _____ **朝**(前3~後13世紀)…11世紀に全盛で宋に使節派遣, シュリーヴィジャヤに遠征

o 24 _____ **朝**(?~後14世紀)…チョーラ朝と抗争, 13C末ペルシア湾岸と馬の交易

→ 14C初頭ハルジー朝の侵攻で滅亡 → デカンから南インドには 25 _____ **王国** 成立

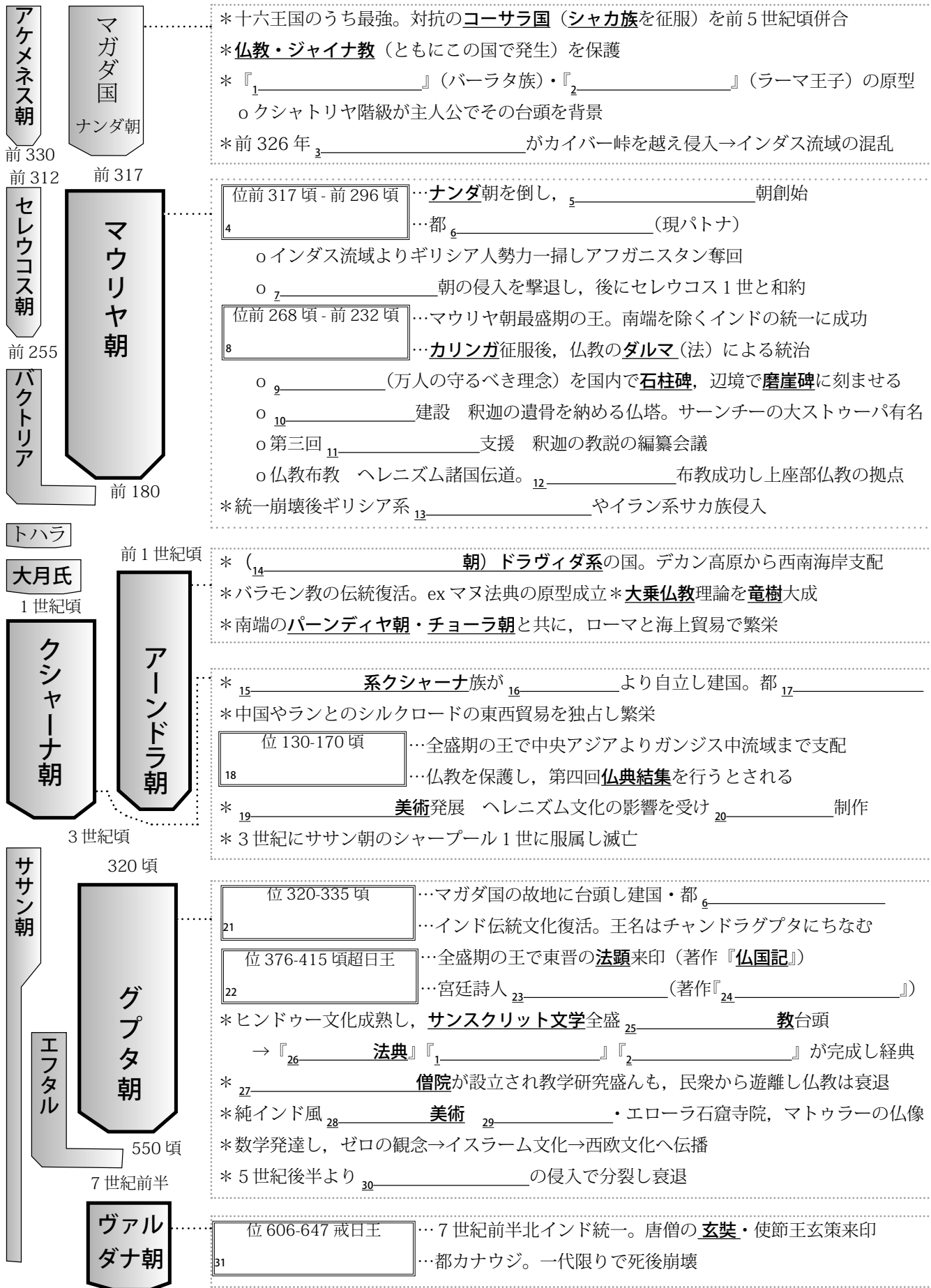
1. ハラッパー 2. パンジャーブ 3. モエンジョダロ 4. 青銅器 5. ドラヴィダ 6. インド=ヨーロッパ 7. ヴェーダ 8. サンスクリット
 9. リグ=ヴェーダ 10. ヴァルナ 11. バラモン 12. クシャトリヤ 13. ヴァイシヤ 14. シュードラ 15. マヌ法典 16. ジャーティ
 17. カースト 18. ウパニシャッド 19. プラフマン 20. アートマン 21. ジャイナ 22. 仏 23. チョーラ 24. パーディヤ
 25. ヴィジャヤナガル

【インド重要地名】



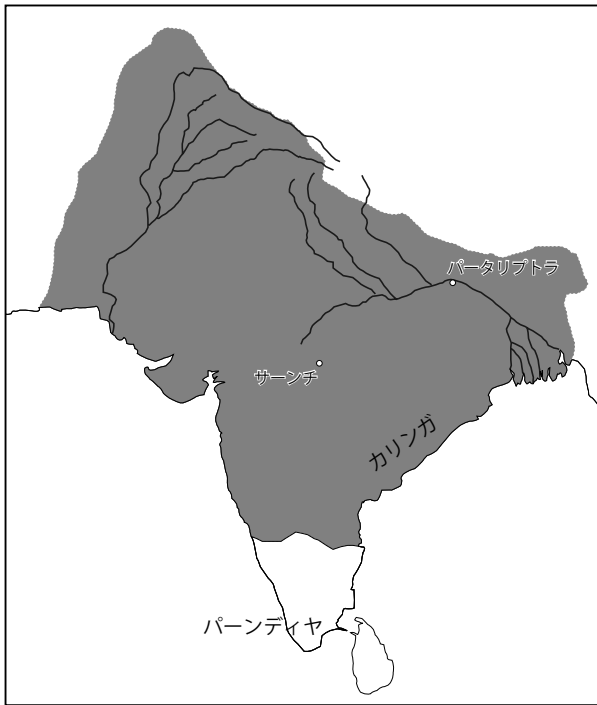
- ① ハラッパ _____ インダス川中流パンジャブ地方のインダス文明遺跡
- ② モエンジョダーロ _____ インダス川下流シンド地方のインダス文明遺跡
- ③ カイバル峠 _____ 中央アジアよりインドへの進入路で、アリア人・アレクサンドロスも通過
- ④ ブッダガヤ _____ ブッダが悟りを開いたとされる仏教の聖地
- ⑤ ベナレス _____ ブッダが最初に教えを説いた地。現在はヒンドゥー教の聖地として有名
- ⑥ パータリプトラ _____ マガダ（現ビハール）地方の中心でマウルヤ朝、グプタ朝の都
- ⑦ サーンチ _____ アショーカ王の大ストウーパ遺跡が所在
- ⑧ プルシャプラ _____ クシャーナ朝の都。ガンダーラ地方の中心
- ⑨ アジャンタ _____ グプタ様式の石窟寺院の仏教遺跡で有名
- ⑩ ナーランダ _____ グプタ朝時代にナーランダ僧院設立。玄奘・義浄も留学

インド王朝の興亡

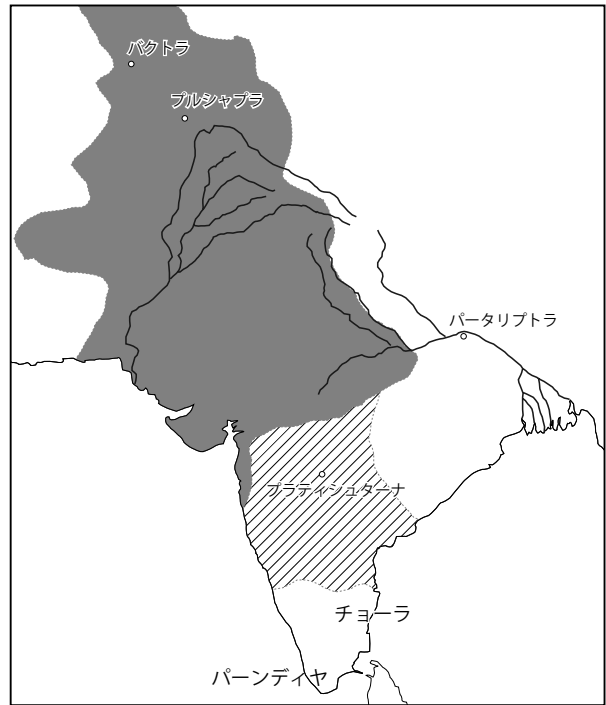


1. マハーバーラタ 2. ラーマヤナ 3. アレクサンドロス 4. チャンドラグプタ 5. マウリヤ 6. パータリプトラ 7. セレウコス 8. アショーカ
 9. ダルマ 10. ストウーパ 11. 仏典結集 12. セイロン（スリランカ） 13. バクトリア 14. サータヴァーハナ 15. イラン 16. 大月氏
 17. プルシャプラ 18. カニシカ 19. ガンダーラ 20. 仏像 21. チャンドラグプタ1世 22. チャンドラグプタ2世 23. カーリダーサ
 24. シャクンタラー 25. ヒンドゥー 26. マヌ 27. ナーランダール 28. グプタ 29. アジャンタ 30. エフタル 31. ハルシャ=ヴァルダナ

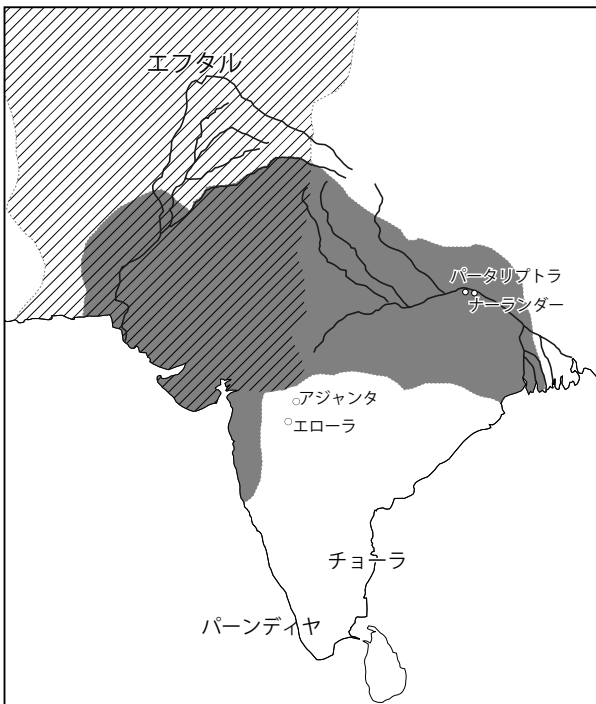
【マウリヤ朝の領域】



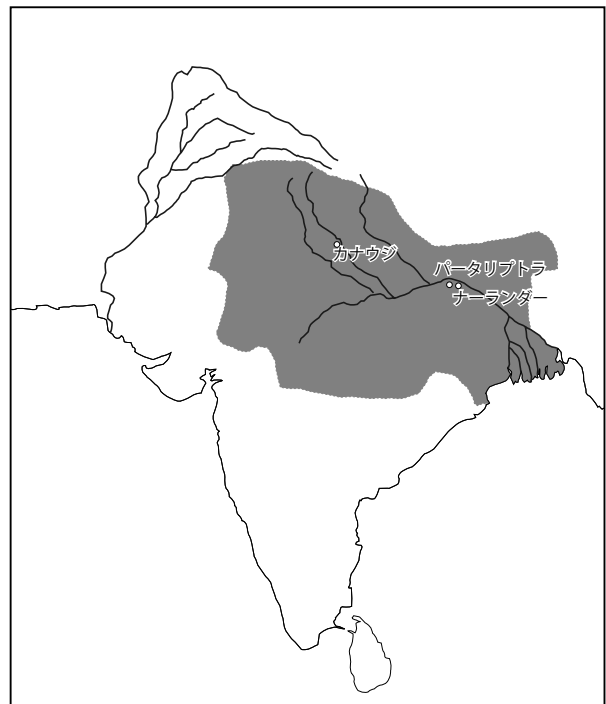
【クシャーナ朝の領域】



【グプタ朝の領域】



【ヴァルダナ朝の領域】



東南アジア世界

東南アジアの地勢

* 地域…大陸部（インドシナ半島部分）と諸島（島嶼）部（マレー半島・スマトラ島・ジャワ島など）に大別

o 大陸部…沿岸地域と河川の流域（4世紀インド化でサンスクリット・ヒンドゥー教や仏教の影響）に国家の形成

- 1. _____ 川…東南アジア最大の国際河川で、1 C 下流に扶南、6 C 中流に真臘形成
13世紀以降上流はタイ人が進出しタイ・ラオスの領域、デルタ地域はベトナム進出
- 2. _____ 川…タイ最大の河川、6世紀モン人のドヴァーラヴァティー成立
13世紀以降流域にタイ人が南下
- 3. _____ 川…中国雲南地方とベンガル湾を結ぶ交通路、4世紀にインド化の影響でピューが成立
11世紀にビルマ人のパガン朝が成立し、領域を統一

o 諸島（島嶼）部 …スマトラ島・ジャワ島の沿岸部に港市国家、ジャワ島内陸では水稻耕作も発展

ベトナム地域の歴史

* 4. _____ 文化…1924年ベトナム北部で発見の青銅器・鉄器文化。：権威の象徴として 5. _____ の出土

* 秦始皇帝…ベトナム地域まで支配とされるも不明。現在の中国の広東省に南海郡設置

チャンパー（林邑） ↓ 占城	南越	前 203～前 111	…秦末の混乱期に漢人の趙佗が建国。広東・広西からベトナム北部支配 …越族が建国に協力、ベトナム史上最初の国家とされるも漢の武帝に滅亡
	中国の支配	前 111～後 220	…武帝が南越滅ぼし支配。現 7. _____ に交趾郡。現ユエに 8. _____ 郡設置
		漢の支配	…40-43年に 9. _____ 姉妹が 10. _____ に反乱も鎮圧。166年大秦王安敦の使者
	李朝	622～10 C 初	…679年交州大総管府を 11. _____ と改称。地域名も安南に
唐の支配		…860, 863年に南詔が侵入し一時占領。10 C 半ばに唐滅亡後の混乱で独立	
陳朝	2 C～17 C	…192年に 13. _____ 人が後漢より独立し建国 …インド文化受容し海上交易で繁栄、中国名 14. _____ →8 C 環王→9 C 15. _____	
	1010～1225	…唐滅亡後の五代十国時代に漢民族支配から独立後、短期王朝興亡 …初めての本格的王朝。李公蘊建国。都ハノイ（昇竜）。宋の侵入撃退	
黎朝 阮氏 鄭氏	1225～1400	…李朝にかわった大越国の王朝。モンゴルの侵入を3度撃退	
	朝大越国	…科挙整備と文字に 18. _____ < _____ > 使用。「大越史記」の編纂 o 胡朝（1400～1407）～科挙官僚勢力が陳朝に代わり建国も、明の永楽帝に滅亡	
西山朝	1427-1789	…明より黎利が独立し建国。都ハノイ（東京） 20. _____ 学を官学	
	朝大越国	…チャンパーを滅ぼしベトナム統一も北鄭氏・南阮氏（広南国）に分裂 o 鄭氏（1592～1786）…16世紀黎朝に一時代わった莫朝を打倒し、黎朝を復興、実権を掌握 o 阮氏（1555～1777）…中南部を支配し、鄭氏と抗争、広南国として日本やオランダと交易	
阮朝越南国	1789-1802	…1777中部地域で西山党の乱を起こした阮文岳・文呂・文恵3兄弟が建国	
	朝安南国	…阮氏、鄭氏を滅ぼし、黎朝を支持した清の介入を撃退→安南国王として冊封	
	1802-1945	…阮氏の 23. _____ が仏宣教師 24. _____ の支援で西山朝倒し建国 …都 25. _____ 国号を 26. _____ として清に朝貢、2代帝よりキリスト教弾圧策 o 1858：キリスト教宣教師殺害口実にスペインとフランスのナポレオン3世出兵 o 1862：サイゴン条約～コーチシナ東部三省をフランスに割譲 o 1882：トンキン占領 cf. 劉永福の黒旗軍がフランス軍に抗戦 o 1883：ユエ条約で保護国化→清朝反対し清仏戦争（1884）→天津条約で清朝の宗主権放棄 o 1887：カンボジア（1867年仏の保護国）とともにインドシナ連邦→1899年ラオスも加盟	

1. メコン 2. チャオプラヤ 3. イラワディ 4. ドンソン 5. 銅鼓 6. 南越 7. ハノイ 8. 日南 9. 徴 10. 光武帝 11. 安南都護府
12. チャンパー 13. チャム 14. 林邑 15. 占城 16. 李朝大越 17. 陳 18. チュノム<字喃> 19. 黎 20. 朱子 21. 西山
22. 阮朝越南 23. 阮福映 24. ピニョー 25. フェ 26. 越南

東南アジア地域の特徴

*海上交易で繁栄

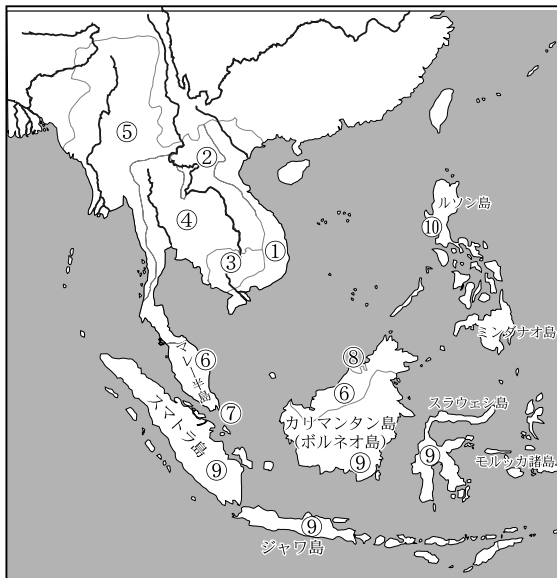
- ・ **香辛料** (胡椒など)・香木 (沈香・白檀など) の特産品の原産地
- ・インド洋と南シナ海を結ぶ, **海の道**の交易の要衝

*国家の種類

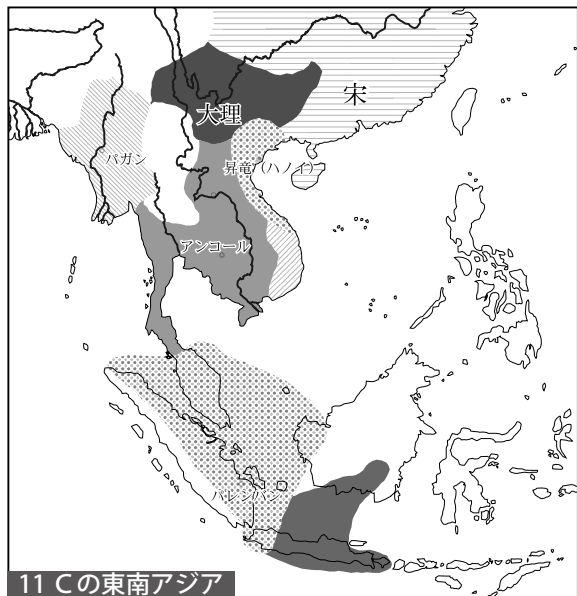
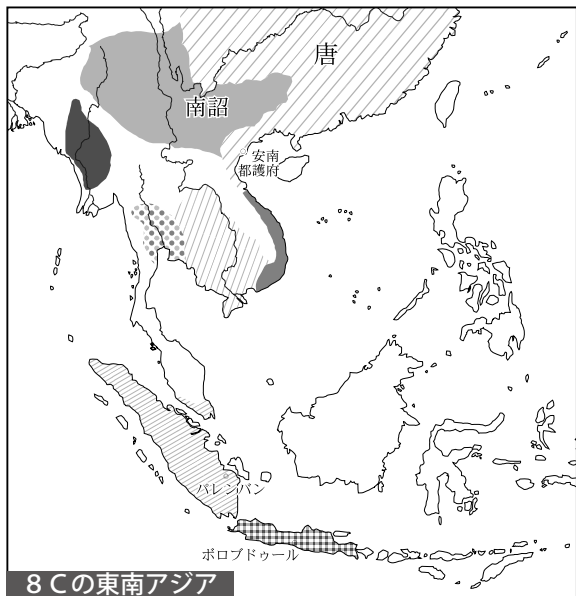
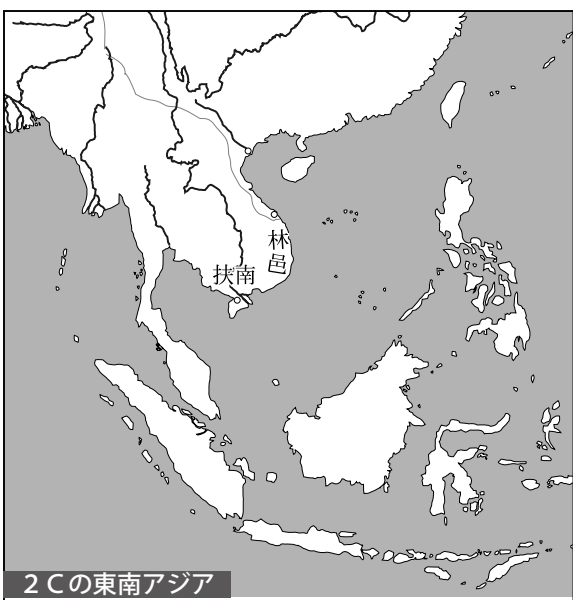
- ・ **港市国家**…沿岸部に成立した都市国家で, 交易で繁栄→河川を通じ内陸の農耕国家と結合することも
- ・ **農耕国家**…7世紀頃より灌漑網整備され, 水稻耕作を基盤にインドシナ半島内陸部の大河の流域に成立

*宗教

- ・ **大乘仏教** シュリーヴィジャヤやシャイレンドラで信仰, 現在はベトナム北部で信仰
- ・ **ヒンドゥー教** アンコール朝のアンコールワットはヒンドゥー教寺院として建立
ジャワ島のケディリ, シンガサーリ, マジャパイトはヒンドゥー教王国
- ・ **上座部仏教** モン人が受容し, ビルマのパガン朝で信仰→ベトナムを除くインドシナ半島に普及
- ・ **イスラーム教** 13世紀以降スーフィーの布教により諸島部に普及, マタラム, バンテン, アチェ
- ・ **キリスト教** 16世紀以降スペインがルソン島中心にフィリピンに布教



- ①ベトナム
- ②ラオス
- ③カンボジア
- ④タイ
- ⑤ビルマ
- ⑥マレーシア
- ⑦シンガポール
- ⑧ブルネイ
- ⑨インドネシア
- ⑩フィリピン



カンボジアの歴史

- 1-2 C～7 C半ば …メコン川下流域にインド人の王が₂_____人支配し成立。インド・中国と交易
1 _____ …インド文化の影響、外港オケオよりローマの金貨と漢の鏡出土
- 6 C～ …メコン中流域に₂_____人建国、南下し扶南を滅ぼす
3 _____ …ヒンドゥー教受容。メコン河の水稲耕作背景に繁栄
- 7～8 C 沿岸の水真臘と内陸の陸真臘に分裂
 - 9世紀初にジャヤヴァルマン2世が国内を統一しアンコール朝(802～1431)を開く
 - 12 C～13 C初にかけ、インドシナ半島全域を版図に全盛も、タイ族の南下に圧迫され衰退
 - ₄_____ …12 Cにスールヤヴァルマン2世を祭るヒンドゥー寺院として建立
 - アンコール=トム…アンコール朝の都城で、全盛期のジャヤヴァルマン7世が完成

ラオスの歴史

*タイ人…中国の雲南地方が原住地、13 C雲南の大理国がモンゴルに滅ぼされ、インドシナ半島南下に拍車

- 14 C中頃～17 C末 …インドシナ半島に南下したタイ人の一派ラオ人が14世紀に建国
ランサン王国 …18世紀に3分裂し、タイのチャクリ朝の支配下に
○ 1893年タイとフランスの協定でメコン川以東がフランス領→1899年仏領インドシナ連邦に編入

タイの歴史

- 1257～1438 …タイ人がアンコール朝の支配から脱しタイ北部のスコータイ拠点に建国
5 _____ 朝 …15世紀半ばにアユタヤ朝に併合される
○ 3代のラーマカムヘン王が全盛で、上座部仏教を国教とし、クメール文字よりタイ文字作成
- 1351-1767 …アンコール朝の領土を奪い、スコータイ朝を吸収したタイ族の国家
6 _____ 朝 …アユタヤを王都、ビルマ人と抗争し、コンバウン朝に滅亡→タークシン王が撃退
○ チャオプラヤー川を拠点に南シナ海とベンガル湾を結ぶ港市国家で、鹿皮や米を輸出
○ 16～17 Cの商業の時代に西欧諸国や日本と交易し、日本人町も建設、山田長政伝説
- 1782～ …ラーマ1世(チャクリ)建国。都₈_____で別称はバンコク朝・チャクリ朝
7 _____ 朝 …ラーマ4世が英とポウリング条約(1855 不平等な通商条約)締結
○ ラーマ5世(位 1868-1910、チェラロンコーン大王)がタイの独立維持と近代化に努める

ビルマの歴史

- * ₉_____人…ビルマ・タイの沿岸地域に居住し、インド文化・上座部仏教受容
6～11世紀にチャオプラヤー川下流に₁₀_____建国→アンコール朝の支配下に
- * ₁₁_____ …イラワディ川中流域に4世紀成立のチベット・ビルマ系の国で、9世紀南詔の攻撃で衰退
- 1044～1287 …ビルマ最初の統一王朝。チベット・ビルマ系で先住のモン人の文化受容
12 _____ 朝 …₁₃_____ (小乗) 仏教受容。ビルマ文字作成。元の侵入で滅亡
- 1287～1531 …モン人のペゲー朝など小国分立状態が続く
分裂時代 …13 C以降タイ族の侵入と抗争→インドシナ半島に上座部(小乗)仏教伝播
- 1531～1752 …タウンゲー朝。イラワディ川流域を支配した統一王朝、都はタウンゲーよりペゲーへ
14 _____ 朝 …ベンガル湾交易で繁栄、タイのアユタヤ朝と抗争、モン人の反乱で滅亡
- 1752～1886 …アラウンパヤーがモン人勢力を撃退し、建国、別名₁₆_____朝
15 _____ 朝 …タイのアユタヤ朝を滅ぼし清軍撃退→一時清に朝貢
○ インドのアッサム地方に進出し、イギリスと衝突→ビルマ戦争に敗北し、インド帝国に併合

1. 扶南 2. クメール 3. 真臘 4. アンコール=ワット 5. スコータイ 6. アユタヤ 7. ラタナコーシン 8. バンコク 9. モン
10. ドヴァーラヴァティ 11. ピュー 12. パガン 13. 上座部 14. トゥングー 15. コンバウン 16. アラウンパヤー

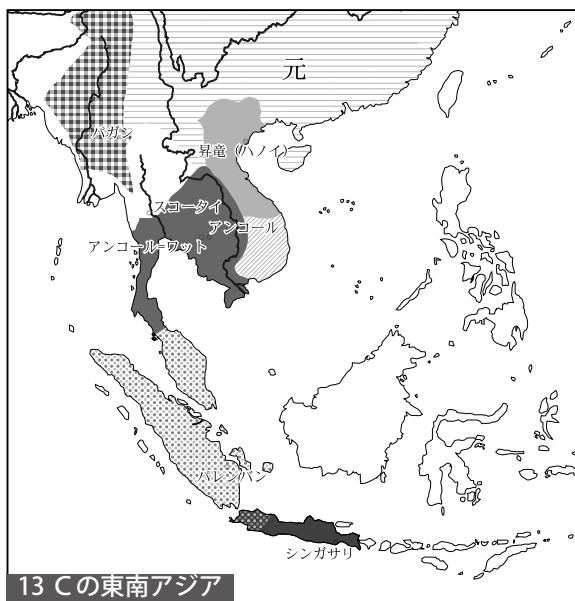
諸島部の歴史

* 7世紀にマラッカ海峡利用本格下し、マレー半島とスマトラ島に港市国家、ジャワ島内陸部の開発も進む
 * 初期は大乗仏教やヒンドゥー教が流入、13世紀以降スーフィーの布教によりイスラーム化が進む

- 1 7C~14C …スマトラ島中心にマラッカ海峡の海上貿易で繁栄の港市国家連合。都パレンバン
 …2 **仏教** 繁栄。唐僧3 _____ 滞在「**南海寄帰内法伝**」。
 ○ 7世紀中国名は室利仏逝、10世紀以後ジャーヴァカ（三仏齊）、11世紀チョーラ朝の侵攻
- 4 8C~9C …ジャワ島中部に成立し、シュリーヴィジャヤと交流、古マタラム王国を従属させる
 …5 _____ 建立（グプタ様式の仏塔）で有名な大乗仏教国
 ○ 古マタラム王国（8C~10C）…ジャワ島中部のヒンドゥー教国でプランバナン寺院群建設
- 6 928~1222 …ヒンドゥー教中心でサンスクリット文献のジャワ語訳、人形影絵芝居7 _____
朝 …ジャワ島東部、米と交換に入手したモルッカ諸島の香辛料や胡椒を輸出し繁栄
 ○ シンガサリ朝（1222~1292）…クディリ朝を滅ぼす、元の使者を追い返し、元のジャワ遠征招く
- 8 1293~1530頃 …シンガサリ朝への元遠征軍利用し建国→14Cシュリーヴィジャヤ滅ぼし全盛
 …最後の**ヒンドゥー教** 大国も、16C初にイスラーム勢力に交易拠点を奪われ、衰退
- 9 14C末~1511 …**明**に朝貢、10 _____ の基地→11 _____ **教**に改宗、南シナ海とインド洋結ぶ
 …港務長官シャーバンドルを置いて貿易を管轄（中国の市舶司と同様の役割）
 1511年12 _____ に滅→イスラームはスダ海峡利用の航路開発し対抗

- 13 16C末~1755 …ジャワ島中部の農耕地域を基盤としたイスラーム教国でオランダ東インド会社に対抗
 …17世紀後半の貿易縮小で打撃を受け衰退
 ○ 14 _____ **王国**（1526~1813）…ジャワ島西端で、香辛料交易で繁栄のイスラーム教港市国家
 ○ 15 _____ **王国**（15C末~1903）…スマトラ島北端でオスマン帝国と交易したイスラーム教国家

- …**アンボイナ事件**（1623）でイギリス排除。ポルトガルより**マラッカ**（1641）
オランダ領東インド …ジャワ島**バタヴィア**を香辛料貿易の拠点→18世紀より領域支配と植民地経営へ
 ○ 1755年ジャワ島のマタラム王国を滅、1904年スマトラ島のアチュー王国を滅
 ○ ジャワ島の中部・東部の低地で砂糖（中国人による製糖業を導入）、西部の高原でコーヒー生産
 ○ **強制裁培制**（1830-1870）…ジャワ島で総督ファン・デン・ボス実施。コーヒーや砂糖など強制裁培



17Cの東南アジア

1. シュリーヴィジャヤ 2. 大乗 3. 義浄 4. シャイレンドラ 5. ボロブドゥール 6. クディリ 7. ワヤン 8. マジャパヒト 9. マラッカ

東南アジア

- *地域…大陸部（インドシナ半島部分）と諸島（島嶼）部（マレー半島・スマトラ島・ジャワ島など）に大別
- 大陸部…沿岸地域と河川の流域（4世紀以降サンスクリット・ヒンドゥー教と仏教などインド化）に国家の形成
 - ・1 _____ 川…東南アジア最大の国際河川で、1 C 下流に扶南、6 C 中流に真臘形成
13世紀以降上流はタイ人が進出しタイ・ラオスの領域、デルタ地域はベトナム進出
 - ・2 _____ 川…タイ最大の河川、別名**チャオプラヤ川**で6世紀モン人のドヴァーラヴァティー成立
13世紀以降流域にタイ人が南下
 - ・3 _____ 川…4世紀にインド化でピュー成立、11世紀にビルマ人のパガン朝が領域を統一
 - 諸島（島嶼）部 …スマトラ島・ジャワ島の沿岸部に港市国家、ジャワ島内陸では水稻耕作も発展

中国文化の影響

ベトナム北部は中国の文化圏

- *4 _____ 文化…1924年ベトナム北部で発見の青銅・鉄器文化。中国の影響と土着要素：5 _____ 特徴
- *秦始皇帝…ベトナム地域まで支配とされるも不明。現在の中国の広東省に南海郡設置
- *6 _____ (前203～前111)…秦末の混乱期に漢人の趙佗が建国。広東・広西からベトナム北部支配
- 前111～後220 …7 _____ が南越滅ぼし支配下。現8 _____ に交趾郡。現ユエに9 _____ 郡設置
- 漢の支配 …40-43年に10 _____ の反乱→**光武帝**鎮圧。166年11 _____ の使者

インドとの交易（1～2 C）

インドシナ半島沿岸にインド人商人往来

- 1-2 C～7 C 半ば …メコン川下流域にインド人の王が13 _____ 人支配し成立。インド・中国と交易
- 12 _____ …インド文化の影響、外港オケオよりローマの金貨と漢の鏡出土、14 _____ に滅亡
- 2 C～17 C …192年に16 _____ 人が後漢より独立して建国。中国名17 _____ →環王→18 _____
- 15 _____ …インド文化受容し、海上交易で繁栄の港市国家連合。cf.11 C 中国へ**占城稻**の伝来

インド化・唐帝国と交易（7～9 C）

マラッカ海峡航路の発達と、インドより水稻耕作の伝来で各地に国家

*イスラム商人がマラッカ海峡を通行し、唐帝国と交易、東南アジア諸国と唐との朝貢貿易も盛ん

- 6 C～15 C …メコン中流域に13 _____ 人建国。扶南を滅ぼす
- 14 _____ …ヒンドゥー教受容。メコン河の水稻耕作背景に繁栄
- 7 C～14 C …**スマトラ島**中心にマラッカ海峡の海上貿易で繁栄の港市国家連合。都パレンバン
- 19 _____ …20 _____ 繁栄。7 c に唐僧 21 _____ 滞在「22 _____」
- 8 C～9 C …ジャワ島中部に成立し、シュリーヴィジャヤと交流
- 23 _____ …24 _____ 建立（グプタ様式の仏塔）で有名な大乘仏教国

○ドヴァーラヴァティー…タイ沿岸からチャオプラヤ川流域のモン人の港市国家連合

○ピュー…4世紀にインド化の影響で成立、イラワディ川流域の諸都市の連合、9世紀南詔の攻撃で衰退

中国商人進出（10～13 C）

ジャンク船の改良で中国商人が南シナ海・インド洋貿易に進出

*港市国家は中国向け特産品の生産地も支配し、輸出で繁栄

- 占城…ベトナム南部で沈香の輸出で繁栄
- シュリーヴィジャヤ（ジャーヴァカ、三仏斎）…マラッカ海峡の交易支配し中国に朝貢
- 25 _____ 朝（ヒンドゥー文化、ワヤン [影絵] 発展）・シンガサリ朝…ジャワ島で香辛料貿易

*インドシナ半島内陸部では灌漑農業が発展、ベトナム・ビルマの原型成立

- 1010～1225 …唐滅亡後の五代十国時代に漢民族支配から独立後、短期王朝興亡
- 26 _____ …初めての本格的王朝。李公蘊建国。都ハノイ（昇竜）。宋の侵入撃退
- 1044～1287 …ビルマ最初の統一王朝。**チベット・ビルマ系**で先住の28 _____ 人の文化受容
- 27 _____ …29 _____ **仏教**受容。ビルマ文字作成。**元**の侵入で滅亡

○真臘国…アンコール朝の下で全盛、30 _____ (ヒンドゥー寺院)、アンコール・トムを造営

1. メコン 2. メナム 3. イラワディ 4. ドンソン 5. 銅鼓 6. 南越 7. 武帝 8. ハノイ 9. 日南 10. 徴姉妹 11. 大秦王安敦
12. 扶南 13. クメール 14. 真臘 15. チャンパー 16. チャム 17. 林邑 18. 占城 19. シュリーヴィジャヤ 20. 大乘仏教 21. 義浄
22. 南海寄帰内法伝 23. シャイレンドラ 24. ボロブドゥール 25. クディリ 26. 李朝大越国 27. パガン朝 28. モン 29. 上座部
30. アンコール=ワット

【インドの宗教について】

*バラモン教

ヴェーダを根本経典とし、輪廻転生の理論によってカースト制度を正当化し、**祭式中心主義**をとってその維持につとめた。すなわち、前世の行いが良かった人間がバラモンに生まれ、悪かった人間がシュードラ、あるいは最も差別される不可触民となるのであるから、バラモンに生まれればそれだけで尊く、不可触民に生まれた者はそれだけで卑しいのであると。

このようなバラモン教の教えにあきたりない人々展開したのが、個人の根本原理**アートマン**（我）と宇宙の根本原理**ブラフマン**（梵）の本質的同一性を唱え、その真の認識 = 悟りに到達することで輪廻から脱しようと説く**ウパニシャッド**（奥義書）哲学である。

*カースト制

ポルトガル人がインドの身分制を総称して言った言葉。カーストとしてひとまとめに表現される身分制度は本来は**ヴァルナ**と、職業別・出身別の社会集団として数千に細分化された**ジャーティ**からなる。このうち人々の生活を現実に律しているのはジャーティで、他のジャーティとの結婚や会食の禁止などのタブーを持つ。日本語でカーストという場合は、このジャーティを指すことが多い。ヴァルナはジャーティの上位概念として理解されるが、ジャーティには4種のヴァルナに含まれず、最も差別される存在としてアウト = カースト（不可触民・アンタッチャブル・ハリジャン [ガンジー命名]）が存在する。

*菩薩

最高の悟りを開いて、仏になろうと発心して、修行に励む人。はじめは前世で修行者だった釈迦をさす名称であったが、のちに大乘仏教では自己の悟りのみを目指す声聞・縁覚に対し、自利利他の両者を目指す大乘の修行者をいう。弥勒・観世音・地藏などの高位の菩薩は仏に次ぐ存在として信仰される。（大辞林）

*大乘仏教

大きな乗り物の意。それまでの仏教を個人の救済を目指すもの（小乗）と批判し、集団の救済（大乘）を目的としたところに特徴がある。クシャーナ朝とサータヴァーハナ朝が併存した時代に南インドのバラモン出身の僧**ナーガルジュナ**（竜樹）によって教学が確立されたが、理論展開の基礎には東西交流を通じて流入したギリシア哲学の論理が導入された。大乘仏教の仏典の言葉は、バラモンたちが用いたサンスクリットである。グプタ朝期にはナーランダ僧院が設立され、教学研究が盛んになったが、皮肉なことにかえってそれによって大乘仏教は高度な学問とみなされてインドでは宗教としての性格を薄め、民衆から遊離し、ヒンドゥー教にとってかわられていった。

*密教

大日如来が説く絶対真理の教え。普通大乘仏教に含まれる。仏教諸派の中では特に祈祷と、そのための呪文や儀式を重視する。ともに8世紀に日本とチベットに伝わり、日本の真言宗とチベット**ラマ教**に継承された。

マヌ法典（ヴァルナの役割）

支配者たる神は、バラモンに対しては、聖典ヴェーダを教え、研究すること、自己と他人のためにいけにえをささげること、神への供物をしたり、受け取ったりすることを命じられた。

クシャトリアに対しては、民衆を守り、施物をし、いけにえをささげ、勉強をし、商売をし、金を貸し、土地を耕すことを命じられた。

……最後にシュードラに対しては、他の階級の人々に奉仕することを命じられた。